

# そごう 総合センターだより

かわにし そごう かわにしりん ぼかん かわにし じどうかん  
川西市総合センター(川西隣保館・川西児童館)

令和3年(2021年)

3

月号

ばしょ びょうごけんかわにし ひだかちょう ばんごう きょうりつびょういん むか  
場所:〒666-0032兵庫県川西市日高町1番2号(協立病院の向い)

TEL:072-758-8398 FAX:072-758-2132

ホームページ: [http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/shisetsu/1002909/sogo\\_list/index.html](http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/shisetsu/1002909/sogo_list/index.html)

新時代へ。

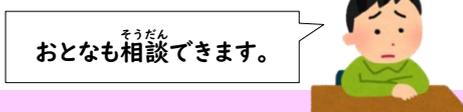
## まも 守ろう 子どもの人権

コロナ禍が、子どもたちの学校生活に影響を及ぼし始めて間もなく1年になろうとしています。その間に、全国に緊急事態宣言が発出され、コロナとの新しい日常生活がはじまっていきました。学校生活では、今までのように子どもたちの歓声が響き渡る学校の姿はそこにはありません。教室での授業や学校行事も、コロナ対応によりカタチを変えたものになっていきました。友だちとの絆を深める機会や楽しい思い出をつくる時間も少なくなっていました。



そんな中で、子どもたちの自殺が大幅に増加しています。コロナ感染による10代以下の国内死者はゼロですが、令和2年(2020年)4月から11月までの期間で、自殺者が329人と、令和元年(2019年)の同じ時期より73人、3割近く多くなっています。学校や家庭の「子どもの居場所」が生きづらい場所になっていることが原因と考えられます。子どもたちからの相談機関に寄せられる声には、コロナによる社会変化が背景にあると指摘されています。

子どもたちが過ごす学校や家庭が安心できる場所となっているでしょうか。学校では、長い休校期間があけてから「なじめない」「なかなか友だちができない」そんな「孤立」の悩みが寄せられています。また、家庭では、保護者のテレワークで、家庭内で子どもが暴言をうけたり、保護者の失業や収入減などにより、そのストレスが子どもに向けられるケースも増加しています。子どももおとなも一人で悩まないでください!



こまったとき... なやんだとき... ひとりで くるしまないで。  
ともだちのこと、学校や家族のことなど  
川西市子どもの人権オンブズパーソン 7月-9月 0120-197-505 月~金 午前10時~午後6時 市役所5階

## まどぐちぎょう むとう じかんへんこう し 窓口業務等の時間変更のお知らせ

4月1日からの総合センターの窓口業務等の時間に変更になります。

内容	現行	変更後
窓口業務	午前9時~午後5時30分	午前9時~午後5時
体育室の貸館	午後6時~午後9時50分	午後5時~午後9時50分
小学生の体育室開放時間	午後3時30分~午後4時50分	午後3時30分~午後4時45分

総合センターだよりは、読みやすいフォント「UD(ユニバ-サルデザイン)デジタル教科書体」を使用しています。